

世界的権威のある国際ブドウ・ワイン機構（OIV）の 品種リストに長野県固有ブドウ品種「竜眼」が掲載されました

長野県は、長野県ワイン協会と連携し、令和6年度から、国際ブドウ・ワイン機構（以下、OIV）が管理する品種リストへの県固有ブドウ品種「竜眼」の掲載申請に向けた形質調査等に取り組んできました。

独立行政法人 酒類総合研究所を通して、「竜眼」のリスト掲載を OIV に申請していたところこの度、OIV の品種リストに掲載されました。

★竜眼とは？

北信地域で古くから栽培されてきた白ブドウ品種で、「善光寺ぶどう」とも呼ばれています。現在、県内の 10 を超えるワイナリーで竜眼ワインが製造されています。これを機に、信州が育んだ、唯一無二の「竜眼」をぜひご賞味ください。

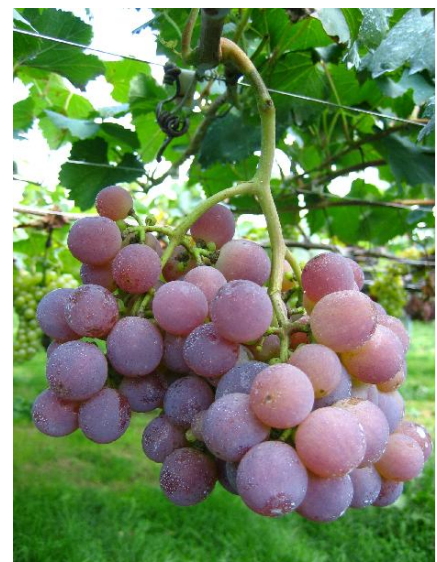
★OIV（International Organisation of Vine and Wine）とは？

ブドウ栽培やワイン醸造に関する研究、技術基準の策定、国際標準化を行う国際機関で、フランスに本部を置く。

EU 諸国に輸出するワインのラベルにブドウ品種を表示するためには、その品種名が OIV 等の機関が管理する品種リストに掲載されている必要があります。日本のワイン用ブドウ品種では「甲州」、「マスカット・ベリーA」、「山幸」に次ぐ4例目です。



樹齢 100 年を超える竜眼の原木
(マンズワイン(株)小諸ワイナリー 万酔園内)



収穫を待つ竜眼（塩尻市）

（問合せ先）

担当 長野県ワイン協会事務局
蟻川、小林

電話 026-229-6775

FAX 026-229-6774

E-mail wine@ngn.janis.or.jp

（問合せ先）

担当 産業労働部産業技術課地酒・食品振興係
飯田、高橋

電話 026-235-7126（直通）

026-232-0111（代表）内線 2941

FAX 026-235-7197

E-mail jizake@pref.nagano.lg.jp